

令和2年度 自己評価結果公表シート

学校法人 森内学園
幼保連携型認定こども園
花園幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康・安全で幸福な生活のため基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ・人への愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度および道徳性の芽生えを培う。
- ・自然などの身近なことへの興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ・日常生活の中で、言葉や数に対する興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたり考えたりする力を培う。
- ・多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちと学びをとらえ、教育・保育・子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員・保護者と共通理解をはかる。
- ・園児の健康・安全を第一に考え新型コロナウイルス感染症対策をしながらの教育・保育を実施する。
- ・インターネット等を活用し、教育・保育の情報発信を強化し家庭との連携を深める。
- ・職員が個々の課題を見据え、研修に取り組みやすい様環境を構築する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none">・幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育・子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員間の共通理解をはかった。・毎月1回、園長・主幹保育教諭・各学年主任のもと教育・保育計画について話し合い、各学年ごとに指導計画を作成した。幼児の主体性を尊重し、幼児の成長を一番に考え指導計画を作成することができた。
園児の健康・安全を第一に考え新型コロナウイルス感染症対策を実施し教育・保育を実施する。	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗いやうがい、マスクの着用などの必要性を発達段階に応じて理解させながら取り組んだ結果、感染症対策の基本が身についた。学校にお

	ける新しい生活様式や国などのガイドラインを参考に新型コロナウイルス感染症の陽性者数を鑑み、教育・保育内容や行事の内容、実施時期についてその都度、できる限り工夫して実施した。
インターネット等を活用し、教育、保育の情報発信を強化し家庭との連携を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年と比べ保護者参観等の機会を少なく設定せざるを得なかった。園内での子どもたちの取り組みや育ちの姿を保護者に見てもらうため、教育設定日においては、ほぼ毎日、教育・保育の様子や取り組みをホームページに写真を添えて公開した。また、一部の行事においてはホームページ上で実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための休園期間中においてもホームページで子どもたちが楽しめたり、興味を持ったりすることができるような内容の園日記を作成し公開した。
研修について	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により対面での研修の参加が非常に難しかった。オンライン研修は積極的に参加し、研鑽を重ねることができた。 ・実技研修として体操講師、絵画講師を招いての園内研修を実施した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>自己点検・自己評価の結果をふまえ、チェックリストを改訂した。その結果、昨年度以上に園全体で取り組むべき課題や職員個々の課題について把握することが出来た。</p> <p>その結果、職員が一丸となって、幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちと学びをとらえ、教育・保育計画の達成への取り組みについて共通理解を深めることができた。さらに、職員が幼児教育・保育に、充実感・やりがい・喜びを大いに感じられる様一人一人が高い意識を持ち取り組むことが出来るようになった。</p> <p>また、本年度も、全保護者へのアンケートを年度末に実施した。その結果、保護者のニーズ・本園において今後取り組んでいく課題を明確に把握することができ、より一層の教育効果の向上・保護者の満足度の向上が期待される。</p> <p>自己評価、アンケート結果、学校関係者評価委員会・保護者からのご意見について話し合うことを通して、今後の課題への取り組みを職員が共有することができ、職員が一丸となって今後の課題へ取り組むことによって、より一層の教育効果向上と保育の充実を図ることが出来る。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き職員間で、幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえて共通理解を深めるとともに、教育・保育計画の作成についてさらに見直しを進め、教育効果の向上・保育の質の向上に努める。
--

- ・子どもの育ち・気持ちを把握し保護者の気持ちを受け止めて新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、教育・保育内容を充実させる。また、子どもたちの姿や様子、取り組みなどについての情報をさらに発信することができるよう工夫し、保護者と保育者の信頼関係の構築に努める。
- ・職員が個々の課題を見据え、研修に取り組みやすい様環境を構築していく。また、保育者がお互いの保育を参観する等の園内研修の機会をさらに確保するとともに、あらゆる角度から教育・保育の技術向上のため、より一層研修に努める。

6. 学校関係者の評価

- ・令和3年7月13日(火)に学校関係者評価委員7名の方に、「令和2年度自己点検・自己評価」・「令和2年度保護者アンケート」の結果をもとに学校評価を実施して頂きました。その結果、委員の方々からは、おおむね自己評価については妥当であると評価頂きました。

学校評価委員様より頂いた主なご意見

- ・幼稚園のホームページに毎日、その日の保育内容や園児の様子を写真で知らせていただけるのがありがたい。子どもたちがどのように園で生活しているのかわかり、安心することができる。
- ・今後も職員間のコミュニケーションを充実させ、教育・保育等についての共通理解を進め、協力して教育・保育を実施してください。
- ・同じ学年でもクラスによってその日の活動内容が違うことがあるのはなぜですか？
→様々な理由がありますが、それぞれの活動がより良い教育・保育環境を構築したうえで実施することにより子どもたちの育ちと学びにつなげたいと考えているため。また、主体性、自らの学びを大切にするため、子どもたちがやってみたい活動や取り組みたい活動がある場合や、予想より遊びが広がった場合などは、予定を変更して違う活動に取り組むことなどがあるためです。

7. 財務状況

当園は毎年、年3回、公認会計士による監査を実施致しております。本年度も適正に運営されていると認められています。